

第2回(仮称)福山市公園整備基本方針検討委員会

2024年(令和6年)3月18日

前回のふりかえり

第1回検討委員会のふりかえり

2023(R5)年11月13日 第1回(仮称)福山市公園整備基本方針検討委員会を開催

公園の現状と問題点

公園の問題点を共有

1. 利用が少ない公園があり、公園のポテンシャルを活かせていない
2. 施設の老朽化が進んでいる
3. 日陰や休憩施設などの便益施設が不足している
4. 障がい者や高齢者のための施設整備が不十分である
5. 公園のマナー違反が増えている
6. 公園の禁止事項が多く、利用者のニーズに答えられていない
7. 公園の管理の担い手が不足している



「公園に期待されているパークマネジメント」(佐藤委員)



• 第1回検討委員会のふりかえり

◆障がい者や高齢者の公園利用に関する意見

- 多目的トイレや日陰施設、ベンチなどが整備が不十分であるため、公園の利用機会が減る
- 利用しやすい公園にするためには、ハード整備だけでなく、ソフト的な対策も必要

日陰施設



多目的トイレ



ベンチ



健康遊具



• 第1回検討委員会のふりかえり

◆維持管理に関する意見

- 公園樹木の落ち葉による苦情が増加により、強剪定や伐採を行うケースがあり、本来樹木が持つ景観や日陰、癒しなどの魅力が失われている
- 高齢化や自治会の加入率低下など、地域の力が衰えつつあり、地域による維持管理が難しくなっている
- 維持管理については市民と協力して課題解決に取り組むことが重要
- 課題解決について、中間支援組織による取組みが注目されている
- 産業都市の特徴を活かし、産業関係者と地域が連携した取組みについても検討が必要

管理が行き届かない公園



ボランティア清掃



産業都市 福山



• 第1回検討委員会のふりかえり

◆公園の整備に関する意見

- 危険遊具撤去後の対応について、再設置が不要な遊具もあるのでは
- 公園はどこも同じような遊具があるだけで、有効的に利活用されていないと感じる
- トイレの洋式化は公園利活用に大きく影響する
- インクルーシブ遊具の整備により、幼い頃から、共生社会について理解を深まるとともに、子育て世代の親同士 の交流が生まれることで、公園が子育ての悩み解決の場になることも期待できる
- 宅地開発で設置された小さな街区公園のあり方(利用が少ない・維持管理の課題)

遊具撤去後の対応



インクルーシブ遊具



開発公園は利用が少ないのでは



● 第1回検討委員会のふりかえり

◆ 地域コミュニティ・教育に関する意見

- ・PTAは、学校行事の縮小とともに、その存在価値が薄れており、公園を活用し、モデル的な取り組みができないかと考えている
- ・子ども会の活動や行事が減少し、子どもや親同士の交流が希薄になっており、公園を通じて、子どもたちと親たちが自然に集まり、交流できればよいと感じている。
- ・公園での総合学習等により、子どもたちの公園に対する興味をまる
- ・パークレンジャーなどの活動を通じて、公園を社会教育の場とすることもできる
- ・保育園の園長さんと連携したパークミーティングのような取り組みを通じて、様々なニーズに対応するとともに、お互いに協力関係を築いているケースがある。

学校やPTAのイベント



地域交流



総合学習の場



● 第1回検討委員会のふりかえり

◆公園の利活用に関する意見

- 利用に関する禁止事項が多すぎると、地域での公園づくりは難しくなる
- 様々な使い方ができる開かれた公園となることで、地域に愛される公園につながっていく
- 行政は、縦割りにになりがちであるが、公園はみどり分野に限らず、教育福祉、医療、文化、観光など、様々な分野の主体が活躍できる場であり、公園側がプラットフォームとして、横の連携を促進していけるとよい

禁止事項



ヨガイベント



音楽イベント



観光



公園の役割

2024(R6)年1月 関係部局へのヒアリング結果

子育てや教育などの立場から公園に期待することについて、ヒアリングを実施

種別	関係課	公園に期待すること	公園の活用	キーワード
子育て支援	ネウボラ推進課 子ども企画課	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもが楽しめる場の創出 ・子どもの居場所づくり (サードプレイス) 	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども遊び方講座 ・子育て講座 ・相談窓口「あのね」 (お出かけ情報) 	<ul style="list-style-type: none"> ・パークレンジャー ・プレイパーク ・カップリング パーティー
教育	学びづくり課	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの主体的な学び ・非認知能力の向上 	<ul style="list-style-type: none"> ・自然観察 ・コミュニケーション 	<ul style="list-style-type: none"> ・フリースクール ・専門家＝学校の先生
障がい者支援	障がい福祉課	<ul style="list-style-type: none"> ・障がいに対する理解促進 ・障がい者の社会性確保 	<ul style="list-style-type: none"> ・移動販売 ・地域とつながる活動 	<ul style="list-style-type: none"> ・情報発信 (多目的トイレなど)
高齢者支援	高齢者支援課	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の社会性確保 	<ul style="list-style-type: none"> ・公園でのラジオ体操 	<ul style="list-style-type: none"> ・運動、健康
地域支援	まちづくり推進課	<ul style="list-style-type: none"> ・持続可能なまちづくり 	<ul style="list-style-type: none"> ・移動販売の場 (地域コミュニティ形成) 	<ul style="list-style-type: none"> ・買い物支援 ・移動支援

第1回検討委員会や関係課のヒアリングで得られた意見を踏まえ、公園が果たすべき役割やそのために必要な対策について、整備、利活用、管理の観点からまとめました。

	公園に期待する役割	役割を果たすために必要な対応		
		整備	利活用	管理
子育て (子ども)	公園で遊びやイベントなどを通し、学校や家とは異なる人間関係を築くことで、安心して過ごすことができる第3の居場所(サードプレイス)となる	<ul style="list-style-type: none"> ・遊具の整備 ・プレイパークの整備 	<ul style="list-style-type: none"> ・パークレンジャーやプレイリーダーを置く ・多世代が交流できるイベントを実施する 	
子育て (親)	子どもの親同士の交流が生まれることで、子育ての悩み解決につながる場となる	<ul style="list-style-type: none"> ・親子にとって快適な空間を整備する 	<ul style="list-style-type: none"> ・子育てイベントの開催 	
教育	自然や人と触れ合うさまざまな遊びを経験することで、運動能力や社会性、自主性、協調性などの非認知能力が向上につながる場となる	<ul style="list-style-type: none"> ・自然観察できるエリアの整備 	<ul style="list-style-type: none"> ・総合学習の場とする 	
障がい者	人と触れ合うことを通して、障がいに対する理解促進や障がい者の社会性を保つ場となる	<ul style="list-style-type: none"> ・インクルーシブ遊具、多目的トイレを増やす ・バリアフリー化を進める 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域とつながる仕組みづくり ・障がい者への理解促進につながるイベント実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・多目的トイレなど障がい者に対応した施設情報の発信
高齢者	高齢者が散歩やグランドゴルフなどで公園を利用することで、健康づくりや高齢者の社会性を保つ場となる	<ul style="list-style-type: none"> ・日よけ、雨よけを設置する ・健康遊具を設置する 	<ul style="list-style-type: none"> ・健康づくりイベントを実施する 	
地域	自治会加入率の低下やPTAや子ども会の活動が減少するなど、弱体化する地域がある中、公園で地域と学校が連携した取り組みを行うなど、地域コミュニティの活性化につながる場となる	<ul style="list-style-type: none"> ・トイレの洋式化を進める 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域連携を行うコミュニティづくりの場として活用する 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域産業の活力で協働する ・中間支援組織と連携する

第1回検討委員会の意見・関係部局へのヒアリング



公園に期待する役割



共通点

国が示す新たな時代における都市公園の意義・役割



【都市公園の柔軟な管理運営のあり方に関する検討会提言】

都市公園の柔軟な管理運営のあり方に関する検討会提言(概要)

都市公園制度誕生150年目のパラダイムシフト ～人中心のまちづくり時代における都市公園の意義・役割～

		<各時代の社会背景>	
明治6(1873)年	太政官布達 都市公園制度の始まり 名勝・旧跡等の群衆遊憩の地を市民の憩楽の場として国民に開放 その後、震災時の避難地・防災拠点等として公園整備が進展	都市の近代化、震災復興・戦災復興の都市計画	
昭和30年代～	都市公園法制定(S31)、都市公園等整備緊急措置法制定(S47) 経済成長、人口増加等を背景に、緑とオープンスペースの量の整備を急ぐステージ	高度経済成長、人口の急増、都市の拡大と過密化	
平成28(2016)年	「新たな時代の都市マネジメントに対応した都市公園等のあり方検討会」最終報告書 緑とオープンスペースが持つ多機能性を都市のため、地域のため、市民のために最大限引き出すことを重視する「新たなステージ」へ	人口減少・高齢化、規制緩和、地方分権、地方創生、国際的な都市間競争、インフラ老朽化と技術職員の減少	
ポストコロナの時代における人中心のまちづくりへの機運の高まり	「居心地が良く歩きたくなる」まちづくりの取組の広がり ～交流・滞留空間、開かれた心地よい空間の創出～	地球環境問題の新たな潮流 ～人と自然が共生する持続可能でレジリエントな都市の形成～	人口減少、少子高齢化への対応 ～全てのこどもの健やかな成長を目指すことも政策の推進～
	新型コロナの感染拡大を経たニューノーマル社会への対応 ～人中心・市民目線のまちづくり、ニーズに迅速に対応する機動的なまちづくり～	市民・事業者の意識変化 ～参画意識の高まり、官民連携による社会課題解決と新たな市場創造・成長～	デジタル・トランスフォーメーションの進展 ～既存の仕組みの変革、新たな価値創出～

新たな時代における都市公園の意義・役割

～公園本来の役割、多機能性・多様な可能性の再認識～

個人と社会のWell-beingの向上に向け、地域の課題や公園の特性に応じ、ポテンシャルを更に発揮すべき

持続可能な都市を支える
グリーンインフラ

心豊かな生活を支える
サードプレイス

人と人のリアルな交流、
イノベーションを生み出す場

社会課題解決に向けた
活動実践の場

機動的な
まちづくりの核

都市公園新時代 ～公園が活きる、人がつながる、まちが変わる～

人中心のまちづくりの中でポテンシャルを最大限発揮するため、パートナーシップの公園マネジメントで多様な利活用ニーズに応え、地域の価値を高め続ける「使われ活きる公園」を目指す

「使われ活きる公園」の実現に必要な
3つの変革

都市アセットとしての利活用
まちの資産とする

公園のストックを地域の資産と捉え、能動的・機動的取組で地域の価値やシビックプライドを高揚する

画一からの脱却
個性を活かす

公園の特性に応じたルールをオーダーメイドでつくり、公園の楽しみ方を広げ、新たな文化を創造する

多様なステークホルダーの包摂
共に育て共に創る

パートナーシップの公園マネジメントを実践し、共有資産である公園を核にまちづくりへの関心を高める

◆都市公園新時代に向けた重点戦略～3つの戦略と7つの取組～

重点戦略【1】 新たな価値創出や社会課題解決に向けたまちづくりの場とする

公園が新たな価値創出や社会課題解決の場となるよう、NbS(自然を基盤とした解決策)の視点からグリーンインフラとしての保全・利活用に計画的に取り組むとともに、市民、事業者等による利活用の状況を管理運営や再整備にきめ細かく反映し、居心地が良く誰もが快適に過ごせる空間づくりを推進。

①グリーンインフラとしての保全・利活用

- 施策の方向性
- グリーンインフラを導入した緑の基本計画(公園の整備・管理方針を含む)の策定
 - 緑の基本計画等に基づく自然環境の有する多機能性の戦略的な保全・利活用
 - 緑の充実や再生可能エネルギーの活用等による公園のカーボンニュートラル化

②居心地が良く、誰もが安全・安心で、快適に過ごせる空間づくり

- 公園の利活用状況の点検と点検結果を踏まえた公園再生
- 公園利用者の安全・安心の確保(防災・減災、バリアフリー、老朽化対策、防犯、暑熱対策等)
- 政策間連携による社会課題対応型の機能向上(健康、福祉、子育て、教育、地域経済等)

重点戦略【2】 しなやかに使いこなす 仕組みをととのえる

公園は誰でも自由に使える空間という基本的な認識の下、多様化する利活用ニーズに応え、さらには公園が機動的なまちづくりの核となるよう、公園の特性等に応じた利用ルールの弾力化、新たな可能性を探る実験的な利活用の推進など、公園を使いこなす仕組みを整理。

③利用ルールの弾力化

- 施策の方向性
- 画一的な利用ルールの見直しの促進(公園条例の方向性や選択肢の提示等)
 - 利用者等の合意形成による公園毎のローカルルールづくり(協議会の活性化)

④社会実験の場としての利活用

- 公園での社会実験の事例・成果の共有
- 多様な主体による幅広いテーマの社会実験を円滑に進めるための仕組みづくり(パークラボ)

重点戦略【3】 管理運営の担い手を広げ・つなぎ・育てる

公園管理者としての体制確保・技術継承、地域との連携等に留意しつつ、多様な主体の参画を促進するとともに、管理運営を安定的に行えるよう自主性・自律性の向上を図り、ステークホルダーとのパートナーシップにより公園の価値を共創。

⑤担い手の拡大と共創

- 施策の方向性
- 公園の特性等に応じた管理運営体制や役割分担の多様化
 - 利活用をミッションとする体制構築(中間支援組織との連携等)

⑥自主性・自律性の向上

- 担い手の財政的な自立性の確保(計画的な収益事業実施、広告設置等)
- 民間の管理運営への参画を更に促進する仕組みづくり

⑦公園DXの推進

デジタル技術とデータの利活用により、新たな時代の都市公園の実現を促進。

施策の方向性

- 公園に関わるデータのデジタル化、オープンデータ化
- データを活用したEBPM
- DXによる新たなサービスを生み出す場としての活用
- デジタル技術、データを活用した、公園の利活用・管理運営の変革(リアルタイムデータを活用したサービス等)

個人と社会のWell-beingの向上に向け、地域の課題や公園の特性に応じ、ポテンシャルを更に発揮すべき

持続可能な都市を支える
グリーンインフラ

心豊かな生活を支える
サードプレイス

人と人のリアルな交流、
イノベーションを生み出す場

社会課題解決に向けた
活動実践の場

機動的な
まちづくりの核

公園・緑地

クールスポットとなる公園・緑地の創出
雨庭の設置
生物生息・生育環境(ビオトープ等)
の創出
住民等との協働による
維持管理・活用

公園・緑地

斜面緑地・崖線緑地の保全

市街地 公園・緑地

河川 港湾

官民連携による公園・広場
空間・水辺空間の創出・
維持管理・活用

市街地 公園・緑地 道路

樹木による緑化
街路樹の育成・管理
雨庭の設置
緑化空間の活用、住民等との協働による
維持管理
街路樹・民有地接道部の緑化による
連続した緑陰の形成

港湾

生物多様性護岸の設置

下水道

暗渠化した水路・せせらぎの再生

港湾

干潟・藻場の再生

市街地

開発地の緑化 屋上緑化・壁面緑化
雨庭の設置 屋上緑化貯留
生物生息・生育環境(ビオトープ等)の創出

河川

ワンドの再生
環境学習

個人と社会のWell-beingの向上に向け、地域の課題や公園の特性に応じ、ポテンシャルを更に発揮すべき

持続可能な都市を支える
グリーンインフラ

心豊かな生活を支える
サードプレイス

人と人のリアルな交流、
イノベーションを生み出す場

社会課題解決に向けた
活動実践の場

機動的な
まちづくりの核



個人と社会のWell-beingの向上に向け、地域の課題や公園の特性に応じ、ポテンシャルを更に発揮すべき

持続可能な都市を支える
グリーンインフラ

心豊かな生活を支える
サードプレイス

人と人のリアルな交流、
イノベーションを生み出す場

社会課題解決に向けた
活動実践の場

機動的な
まちづくりの核



南池袋公園を楽しみつくす

一年中あどりの広がる型生広場を中心に、生産者と消費者の食を
介したつながりの場を日活したカフェレストランをはじめ、地域
活動の拠点として利用できる多目的広場、豊島区発祥のソメイ
ヨシノが織り交るサクラテラス、小山から滑り下りる大きなすべり台
のあるキッズテラスなど、南池袋公園には多世代が楽しめる様々
な空間が用意されています。園内には、2500本におよぶ樹木が
植えられ、園路をめぐりながら四季折々の表情を楽しむことが
できます。また、周囲の再生地にはミストが供給されており、災害
時の延焼防止や昼間の気温低下の機能を担うなど、都市を
安全で快適に楽しむ工夫がたくさん盛り込まれています。

自宅や学校、職場でもない、
居心地の良い空間

ゆったりとリラックス
できる場所をもつことで、
責任などから解放され、
人生に様々なメリットもたらす



緑がたく文化的な楽しみ

豊島区が誇る文化芸術をアート・カルチャーと位置づけ、その
魅力を広く国内外に発信するとともに、豊島区ならではの文化の
多様性を活かすため、公園や道路といった公共空間を都市の舞台
として誰もが気軽に楽しめるまちづくりを進めています。南池袋
公園は、巨大ターミナル駅を有する池袋副都心と緑の森が輝く
雑居が谷エリアの結核点に位置しており、世界が憧れるクール
ジャパンを体験できる場所として抜群のロケーションにあります。
緑豊かな公園が親睦活動の拠点となって、グリーン大通り、丹波、
そして雑居が谷の森へ、文化的な楽しみが緑とともに広がって
いく。豊島区が目指す未来の風景を、ここ南池袋公園からスタート
していきます。

持続可能な都市を支える
グリーンインフラ

心豊かな生活を支える
サードプレイス

人と人のリアルな交流、
イノベーションを生み出す場

社会課題解決に向けた
活動実践の場

機動的な
まちづくりの核

公園のチカラを引き出し、まちづくりに活かす



個人と社会のWell-beingの向上に向け、地域の課題や公園の特性に応じ、ポテンシャルを更に発揮すべき

持続可能な都市を支える
グリーンインフラ

心豊かな生活を支える
サードプレイス

人と人のリアルな交流、
イノベーションを生み出す場

社会課題解決に向けた
活動実践の場

機動的な
まちづくりの核



公園で車いす利用者と
交流することで
いろいろなことが見えてくる

障がい者に対する理解促進

インクルーシブ遊具があることで
違いを理解し、受け入れる
心を育むことができる

非認知能力の向上(協調性や考える力)



個人と社会のWell-beingの向上に向け、地域の課題や公園の特性に応じ、ポテンシャルを更に発揮すべき

持続可能な都市を支える
グリーンインフラ

心豊かな生活を支える
サードプレイス

人と人のリアルな交流、
イノベーションを生み出す場

社会課題解決に向けた
活動実践の場

機動的な
まちづくりの核



公園がチャレンジの場となる

第1回検討委員会の意見・関係部局へのヒアリング



公園に期待する役割

- | | | |
|--------------|---|----------|
| ・樹木の日陰や景観 | ➤ | グリーンインフラ |
| ・子どもの居場所が必要 | ➤ | サードプレイス |
| ・子どもや親同士の交流 | ➤ | リアルな交流 |
| ・障がい者への理解促進 | ➤ | 社会課題解決 |
| ・様々な利用ができる公園 | ➤ | まちづくりの核 |

国が示す新たな時代における都市公園の意義・役割



【都市公園の柔軟な管理運営のあり方に関する検討会提言】

まちが期待する(課題解決)公園の利活用

意見交換

【参考資料(裏面)】宅地開発による小さな公園、身近にある街区公園、大きな公園のイメージ

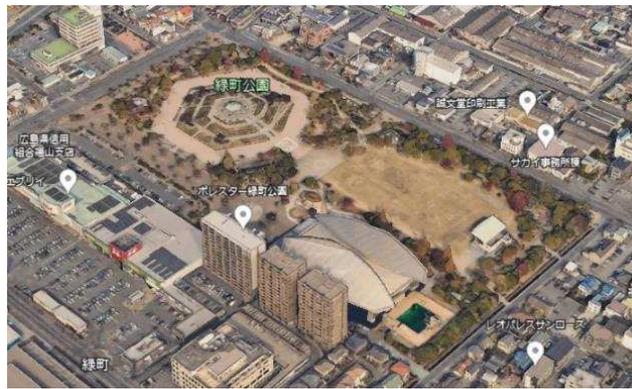
【宅地開発による小さな公園】200㎡未満



【身近にある街区公園】



【大きな公園】



公園の長所を活かした利活用

【宅地開発による小さな公園】・・・規模感につきまして、【参考資料(裏面)p.1】の画像をご参照ください

(特徴)

(長所)

(利活用)

【身近にある街区公園】・・・規模感につきまして、【参考資料(裏面)p.1】の画像をご参照ください

(特徴)

(長所)

(利活用)

【大きな公園】・・・規模感につきまして、【参考資料(裏面)p.1】の画像をご参照ください

(特徴)

(長所)

(利活用)

その他、公園を使った利活用アイデア(自由意見、自由記入欄)

公園の長所を活かした利活用

【宅地開発よる小さな公園(200㎡未満)】		
<p>(特徴) 住宅に身近</p> <p>狭い、形がいびつ 遊具がない、何もなし</p> <p>身近にある(徒歩圏)、 狭小、駐車場がない、 緑陰が少ない</p> <p>大きい道路に面していない</p> <p>面積狭く目が届きやすい</p> <p>多角形、三角形といった住宅開発の 残置</p> <p>屋外空間で地域の庭</p>	<p>(長所・良いところ) 近隣の住民により利用方法を考えられる</p> <p>近い すぐ行ける</p> <p>身近にあり、活用は近隣住民次第</p> <p>近隣住民にとっては第2の庭</p> <p>小さい子(幼児・低学年)でも家から歩いて来られる。すぐ迎えに行ける。周辺の交通量も少なく親も安心して行かせられる</p> <p>地域の庭として豊かさや楽しみを生み出す 身近な公園であり、遊ぶには好都合</p>	<p>(利活用アイデア) 毎年、子どもたちに利用方法を考えてもらう 近所の庭(花壇、ハーブ園)</p> <p>地域コミュニティ 家ではできない日曜大工 家で管理できない大きなものを保管</p> <p>ベンチ設置だけではなく、テーブル付きベンチ設置により青空リビングとして活用</p> <p>乳幼児対象 子どもを見守る親(祖父母)の為、ベンチ、日陰を充実させる。清掃、衛生面、清潔感を重視し、小さい子を安心して遊ばせられるようにする</p> <p>親同士の交流(井戸端会議)に利用してもらう。</p> <p>立ち寄りストレッチする器具やベンチ 開発に伴う提供公園等で条例の見直し</p>

公園の長所を活かした利活用

【身近にある街区公園】		
<p>(特徴) 運動に適した大きさ 緑陰が作れる大きさ</p> <p>運動が出来る (グランドゴルフ・キャッチボール等)</p> <p>ある程度面積がある 遊具が設置してある</p> <p>住民生活に密着した身近な公園 幼児連れの親や小学生の遊び場、 休憩の場</p> <p>維持管理の行き届いた公園ならば、 利活用が期待できる</p>	<p>(長所・良いところ) 一定の規模があるので、軽運動とくつろぎの場 の両立が可能</p> <p>ある程度広さがある</p> <p>遊具を使って子どもが体をしっかり動かせる 面積もあるので、鬼ごっこ、かくれんぼ、バドミ ントンなど遊びが楽しめる</p> <p>身近な公園であり、子どもたちが遊ぶには 好都合</p> <p>多目的に利用できる 地域の交流場</p>	<p>(利活用アイデア) 緑陰・パーゴラ・屋根によるくつろぎの場 運動メニューは地域で選ぶ 近所のリビング、パーティスペース</p> <p>地域コミュニティ、子どもの遊び場 トイレの整備を進めて欲しい、駐車場の確保</p> <p>花壇設置、作物の栽培 トレーニング遊具、ストレッチ遊具の設置</p> <p>幼児～小学生が対象 体をしっかり動かせる遊具を充実させる</p> <p>友達同士、異年齢の交流の為、ベンチや日陰を 充実させる</p> <p>ボールの使用、バットを使用禁止にして、 中高生・大人のスポーツ目的は避けてもらう (棲み分け)</p> <p>複数の公園が立地し、ほとんどの公園が似たよ うな機能や施設であり、機能の再編、分担や統 合について検討</p> <p>地域に親しまれ、使われる公園としてまとめる</p> <p>遊具の充実や地域の人たちが自由に利用できたり、 子どもたちの創造力を生み出せる場の提供</p>

公園の長所を活かした利活用

【大きな公園】・・・規模感につきまして、【参考資料(裏面)p.1】の画像をご参照ください

(特徴) 駐車場を作れる広さ	(長所・良いところ) さまざまなイベントに利用可能	(利活用アイデア) 地域のイベント広場(芝生の広場) 利用促進のためのサービス施設
様々なイベント活用ができる広さあり	駐車場がある、大型遊具がある 管理が行き届いている	イベント利用 誰もが集える場所作り イベントの誘致
面積広い、 トイレ・駐車場が完備されている 道路からアクセスしやすい	トイレ・駐車場の管理が徹底されている 花壇、植木が整備され、季節を感じるができる	中高生、大人が対象、ボールを使用することを想定し、フェンスを完備する
ウォーキング、ランニングコースが完備	面積広くボールや道具を使用してスポーツも楽しめる	駐車場をしっかりと準備し、若者、家族でも訪れやすいようにする
安全性が高く、一定の整備ができていて、集客性がある	ウォーキング、ランニングコースなど、お年寄りまで利用でき、みんなに健康に役立つ	土日は貸し切りが多いが、無料開放日(イベント日)も設ける
	比較的利便性のよい場所に立地 利用率が高い。施設整備が出来ている	大人が夜でも安全に利用しやすいよう、照明、防犯カメラ、非常ボタンを完備
		多世代の交流の場 大きなイベントが可能であり、多様な遊びと交流の場。

その他、公園を使った利活用アイデア(自由意見、自由記入欄)

別紙へまとめを記入

公園の長所を活かした利活用

その他、公園を使った利活用アイデア(自由意見、自由記入欄)

ベンチやシンボルツリーのドネーション

山、川(水路)や農地、古墳など福山の都市空間ポキャブラリーを盛り込んだデザイン

近隣の住民の年2回程度の清掃や不慣れな除草剤散布等から、専門知識を持つ業者等へ一括管理させてはどうか

以前の話として、公園の整備工事をした際に近隣住民から「この公園で子どもを遊ばせたくない。ボール投げでもして道路に飛び出すから」と子どもが遊べない公園にしたことがあります

公園は子どもたちが安全に遊べ、身体を動かせる場所にするべきでは

掃除で集めた落ち葉で「バーベキュー」や「焼き芋作り」など地域住民の親睦になる催しを規制なくできるようにならないものか
身近な小さな公園では、兄弟でキャッチボール、仲間がふえたら三角ベースなどした昔から思えば、自宅でゲームをする時代になり、公園に子どもを見かけません

独りでもボールの壁投げやバスケットボール、バトミントンなど興じる姿を見たいものです
それぞれの地域の住民構成を考慮した公園整備が必要。

街区公園については、清掃(トイレ、草刈、ごみ箱)を地域住民で協力(町内会、子ども会)地域の公園は地域で守る
(自分たちで管理すると、愛着がわく、コミュニケーションの場、子どものボランティア意識)
※助成金もらえれば活動費に還元できるし、やりがいも感じる事ができるのでは・・・

大きな公園は管理は市町レベルで管理。イベント、球技大会には利用料を負担してもらい、管理費用、設備の充実に充てる
※子ども会活動等、子どもの育成に関するものは(一部)免除してもらえれば、利用が促進するのでは

子ども会、お年寄り、大学生などからボランティアを募集し、子どもと遊べる(紙芝居、レクリエーション、夏祭り、昼食会、水遊び、とんど・・・)
季節ごとのイベントを企画

例えば毎週第1土曜とか定期的に(1時間~1時間半程度)に開催し、近所の住民に集まってもらう

フリーマーケットを定期的に開催し、住民のコミュニケーションの場とする(まだ使えるものが再利用され、ゴミも減る)

みんなが使いやすい公園となるよう公園機能を見返し、地域に親しまれる、使われる公園として配置の再編(統合)

維持管理の協働体制(公園の維持管理、地域の自主的活動:地域住民、対処が困難な作業:行政)

公園の維持管理について、指定管理者、企業パートナー協定

子ども向けの遊びの場や、高齢者向けの健康づくりの場、市民農園など公園の有効利用

ニーズ調査方法及び内容の提案

【目的】 公園に対する市民のニーズなどを把握するため

アンケートの概要

調査日時(予定)	2024(R6)年3月29日~4月12日(2週間)予定
調査対象者	18歳以上の福山市民2,000名(無作為抽出による)
配布数	2,000部
配布回収方法	郵送回収またはQRコードより回答フォームにアクセスし回答
所要時間	約5分

アンケートの見出し文

公園についてご意見をお聞かせください

日頃から市政全般にわたり、ご理解とご協力をいただきありがとうございます。

近年、少子高齢化の進展や公園利用ニーズの多様化等、社会環境が大きく変化する中、福山市では、誰もが楽しめる魅力ある公園づくりをめざし、「(仮称)福山市公園整備基本方針」の策定を計画しています。

つきましては、市民の皆さまの公園に対するニーズを把握し、方針策定の参考とさせていただきますため、アンケート調査を行うことになりました。

対象者は、福山市にお住まいの18才以上の方の中から無作為で選ばせていただきました。

ご多忙のところ、まことに恐縮ではございますが、アンケート調査にご協力いただきますよう、よろしくお願いいたします。

アンケートの質問内容と目的

質問内容	目的
利用頻度	公園利用者の利用頻度による利用傾向やニーズの違いを理解するため
満足していること	公園の良い点や強みを特定するため
不満なこと	公園利用者が課題として感じている点を理解するため
利用しない理由	公園を利用しない理由を把握し、利用促進策を検討するため
公園施設で重要だと思うもの	利用ニーズや整備の優先順位を検討するため
期待する役割	市民が公園に期待する役割や意義を理解するため
利用機会が増える要因	公園の利用頻度や利用意欲に影響を与える要素を理解するため
合意形成の取り方	公園整備等を行う際の適切な合意形成のプロセスを確認するため
開発公園の必要性	開発公園(小さな公園)について市民のニーズを確認するため
迷惑行為の内容	安全かつ快適に公園を利用するために求められる環境を確認するため
利用ルールの設定について	ルールの設定や運用についてどのような要望や提案があるか把握するため
公園の防犯対策	どこまでの防犯対策を必要と感じているか確認するため
公園づくりに参加したいか	市民が公園づくりのどれくらい関心を持っているか確認するため
どのようなことをやってみたいか	市民が公園で新たな活動や体験を求める意向があるかを把握するため
維持管理で協力できること	どこまでの維持管理であれば協力してもよいと感じているか確認するため
施策の方向性	新たな施策の方向性を確認するため
年齢・性別・家族構成	公園の利用者の属性を把握するため
居住地域・滞在年数	地域による傾向や、福山市外の公園との比較のため

その他のニーズ調査

対象者	内 容
学校の先生	公園に期待する役割や課外活動などでの公園の活用方法についてアンケート調査
障がい者	各団体にヒアリング

今後の取組み及びスケジュール

今後の取組み及びスケジュール

第1回検討委員会 (2023.11.13)

- ・公園の現状や問題点を共有
- ・先進事例紹介
- ・意見交換

第2回検討委員会 (2024.3.18)

- ・公園の歴史や期待される役割
- ・まちが期待する(課題解決)公園の利活用(意見交換)
- ・ニーズ調査方法及び内容

【ニーズ調査】
・アンケート
・ヒアリングなど)

第3回検討委員会 (2024.5予定)

- ・ニーズ調査結果の報告
- ・ニーズ調査結果を踏まえた公園の課題解決について(意見交換)

第4回検討委員会 (2024.6予定)

- ・先進地視察結果の報告
- ・方針の方向性(意見交換)
- ・第1回市民懇話会の内容の提案

【先進地視察調査】
・中間支援組織など

第1回市民懇話会

第5回検討委員会 (2024.9予定)

- ・第1回市民懇話会結果の報告
- ・方針の方向性の提案
- ・第2回市民懇話会の内容の提案

第2回市民懇話会

第6回検討委員会 (2024.10予定)

- ・第2回市民懇話会結果の報告
- ・方針(案)の提案

パブリックコメント

2025.2予定
方針策定